

令和8年度 学校「学ぶ力」育成プログラム

自ら課題を見付け、自ら学び、自ら問題を解決する資質・能力

学校番号：32005

「学ぶ力」	
成果	課題
◇R7年度学校評価アンケートより ・「先生方は、生徒の良さを見つけたり、悪いところを指導したり、相談にのってくれたりするなど、生徒の理解に努めていると思いますか。」→88%達成 ・「あなたは、自ら進んで学校生活（授業や行事、日常活動）に参加していますか。」→85%達成	◇R7学校評価アンケートより ・「あなたは、自分や友達の良さを見つけながら、その良さを発揮できるように意識して生活することができましたか。」→82%達成 ・「あなたは、学校・学級に安心・安全に落ち着いて生活できる雰囲気があると思いますか。」→75%達成
「学ぶ力」の基盤〈協働を通して磨く 相互承認の感度〉の現状と課題	
◇上記アンケートの結果から、生徒同士の相互承認の感度は、昨年度と同様に課題が見られる。生徒同士の相互承認の感度を高め、学校における心理的安全性を確保する取り組みが必要である。	

「学ぶ力」の育成のために着目する資質・能力

「本物の経験」を創出する

取組	課題探究的な学習の推進 に向けて	自主的な活動の充実 に向けて
	(1)子どもが「何のために」を考える単元課題や場の設定・声掛けの実践 (2)子どもが「自己選択・自己実現」のできる課題や場の設定 (3)AAR サイクルを意識した単元デザインの創出を図る	(1)グループ活動など、相互理解を生み出すための対話の場の創出 (2)生徒会活動・部活動・旅行的行事・授業における「直接体験」の場の創出 (3)失敗から学べる声掛けや単元デザインを設定する
「学ぶ力」の育成の一層の充実を図る ICTの活用について		
◇シャボテンの活用から子どもの現状を把握し、子どもの心理的安全性を確保する。 ◇校内研修においても、クラスルームを活用し、お互いの実践を交流しながら、授業改善を図る。		

<本プログラムの実行に向けて>

